

## 平成 23 年度 第 1 回理事会議事録

- ◇ 期 日 平成 24 年 2 月 4 日（土） 14:00～17:00
- ◇ 場 所 (株)開発工営社会議室
- ◇ 出席数 理事 27 名の内、出席 20 名、欠席 7 名
- ◇ 議 事

### 1. 平成 23 年度事業報告について

- ・ 各委員長より、事業報告について資料に基づき説明があった。
- ・ 北海道小学生タグラグビー選手権大会の参加資格について質問があった。大会への参加は、原則、単一小学校で参加するものとしているが、最大 3 校までの合同チームでも参加できるものとし、スクールでの参加はできないものとしている（詳細は北海道協会 HP 掲載の大会実施要項参照）。
- ・ 男子セブンズ大会の課題として挙げた参加チーム不足によるスケジュールの見直しなどの対策に関して確認があった。大学参加の要請があったが大学の大会のスケジュールから難しいとの見解が示された。来年に東京で行われる国体からセブンズでの試合となることから、各支部で取組みを強化すると共に、セレクションコミッティ・強化委員会で強化の道筋等について見える形で取組むことが確認された。
- ・ レフリーソサエティから、大会要項を早く欲しいと毎年要請があることから来年度はそのようなことがないようにすることが確認された。
- ・ 北海道選手権大会の参加チームの減少の対策について意見が述べられた。小・中・高校から大学・社会人までのつながりで切れ目なく取組むこと、地域での取組み強化、行政や教育大学との連携などの意見が述べられた。

### 2. 平成 23 年度会計状況について

- ・ 会計担当理事から、現時点までの会計状況、平成 23 年度登録者、平成 23 年度傷害者について報告があった。
- ・ 現時点までの会計状況については、今年度予算は 3 万円黒字の予算を組んだが、登録料の減少、有料試合（慶應義塾大学対明治大学）の赤字、トップリーグが開催されず収益還元金の収入がなかったことなどで 100 万円前後の赤字となる見通しである。
- ・ 平成 23 年度のチーム登録者数及び個人登録者数については、チーム登録数がクラブ・社会人で 5 チーム減少し全体では増減により 4 チームが減少した。個人登録者数については 187 名の減少となった。
- ・ 収支の改善について意見があった。会費の値上げの検討を行うとの意見があったが、各支部でも会費を上乗せして集めていることなどもあり問題があるとの見解が示された。スポンサー集めの工夫、有料試合での理事のチケット販売促進などの協力を行うことが確認された。
- ・ 傷害報告書が傷害発生日から 30 日を経過して北海道協会を通さずに関東協会に出したチームがあることが報告された。傷害見舞金請求手続きのルールを守るこ

とが確認された。

### 3. 平成 24 年度事業予算について

- ・ 会計担当理事より、平成 24 年度会計予算の策定とチーム登録・選手登録について説明があった。
- ・ 平成 24 年度予算申請が全て揃っていないこと、これまでの申請で赤字となるため次回の理事会に予算案を提出する。予算案の策定は、理事長、副理事長及び会計担当理事に一任する要請があり承認された。
- ・ チーム登録・個人登録は、昨年から会員登録管理システムによるオンライン登録に移行しており、今年度の事務は軽減されているが、日本協会から発行されている「年度更新後の登録手続きガイド」を熟読の上、4 月 30 日までに年度更新手続きを行うことが確認された。

### 4. 平成 24 年度事業計画について

- ・ 庶務担当理事より、各委員会の事業計画案についての資料が示され各委員会と確認した。次回理事会で事業計画を確定する予定であるので決定次第、庶務担当理事に報告することが要請された。

### 5. 規約（細則）の一部改正について

- ・ 庶務担当理事より、規約（細則）の一部改定について資料に基づき説明があった。
- ・ 協会規約（細則）第 5 条の支部長会議の開催について、「1 会計年度内」の開催を「会長が必要と認めるとき」に変更することが提案され承認された。

### 6. 安全推進講習会について

- ・ コーチソサエティ委員長より、今年度も各支部で実施する安全推進講習会に先立ち 1 月 22 日に関東協会で行われた伝達講習会の内容について資料を基に報告があった。
- ・ 伝達講習会の中で講習された IRB 脳震盪ガイドライン（2011.5.24）の内容について確認が行われた（詳しくは北海道協会 HP「News2011/09/13 脳震盪ガイドライン更新」参照）。
- ・ 今年度も各支部で安全推進講習会を実施する。安全推進講習会は、安全推進講習会運営委員が支部ごとに所属チームのコーチ資格者（実際に指導にあたっている者）を集めワークショップ講習会を実施し、その後に受講した各チームのコーチ資格者がチームのスタッフ・選手全員を集めて安全推進講習会を実施する。
- ・ 支部で受講した各チームのコーチ資格者には受講者登録証を発行する。
- ・ 各チームは安全推進講習会を実施し、受講者アンケート、チーム伝達報告書を所属する支部に提出する。支部は書類を確認しアンケートを集計しその集計結果を安全対策委員長に提出する。
- ・ 安全推進講習会は、チーム登録最終日が 4 月 30 日となっているためそれに間に合うように日程を設定すること。まずは各支部で安全推進講習会を開くことが必要となるため、各支部と安全対策委員長は、各チームが期限までに実施できるように、支部開催の安全推進講習会の実施日を早急に設定することが要請された。
- ・ 注意点としては、これまでは支部で行われた安全推進講習会のチームからの受講

者はコーチ資格者でなくても受講できたが、昨年からはコーチ資格者（実際に指導にあたっている者）が受講しなければならない。

#### 7. 全国ジュニアラグビーフットボール大会遠征について

- ・ 普及育成委員長より、全国ジュニアラグビーフットボール大会の北海道スクール選抜チーム出場募金のお礼と試合結果について報告があった。

#### 8. 北海道・アルバータ州親善スポーツ交流事業について

- ・ 事務局より、北海道の国際交流の一環で北方圏交流（カナダ・中国）として行っている北海道とカナダアルバータ州親善スポーツ交流事業（受入）で、平成 24 年度にラグビーの親善試合を行う予定であることが報告された。
- ・ 試合は高校セブンズとなっており、北海道体育協会と北海道ラグビー協会が協力して行うが、日程など詳しい内容は決まっておらず今後報告する。

以上